第1章

仙台港背後地土地区画整理事業の概要

第1章 仙台港背後地土地区画整理事業の概要

(1)事業概要

仙台港背後地は、東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港(仙台港区)に隣接する地区であり宮城県はもとより、東北地方の国際貿易・交流拠点として、また、仙台都市圏の物流拠点、工業生産拠点としての機能を持つべき地区としてその整備が望まれています。

そこで、宮城県と仙台市は、21世紀に向けて東北地方の発展を先導し、国際化・情報化等に対処する計画的な都市基盤整備を共同で行い、アメニティに富んだ魅力あるまちづくりを推進しています。

事業の名称 仙塩広域都市計画事業 仙台港背後地土地区画整理事業 施行主体 宮城県

施工面積 約258. 5ha(仙台市 約248. 7ha、多賀城市 約9. 8ha) 事業期間 平成3年度~平成29年度

総事業費 629.4億円

減 歩 率 平均29.85%(公共減歩 18.20%、保留地減歩 11.65%)

計画人口 将来昼間人口 約16,600人 将来夜間人口 約2,400人

建築物戸数 322戸(うち要移転戸数:309戸)

(2)事業の経過

| 7 <u>5 - 7 - 7 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2</u> | |
|--|--|
| 平成 2年 11月 16日 | 都市計画決定(施行区域面積: 257.1ha) (県告示1323号) |
| 平成 3年 4月 1日 | 宮城県仙台港背後地土地区画整理事務所設置 |
| 平成 3年 7月 23日 | 事業計画決定(県告示903号) |
| 平成 4年 3月 7日 | 第1回仙台港背後地土地区画整理審議会開催 |
| 平成 6年 2月 18日 | 事業計画変更(県告示167号) |
| 平成 6年 3月 31日 | 第1回仮換地指定通知の発送 |
| 平成 9年 2月 18日 | 都市計画決定(施行区域面積: 2 5 8 . 5 h a) (県告示 1 9 0 号) |
| 平成 10年 7月 31日 | 事業計画第2回変更(県告示833号) |
| 平成 14年 2月 | 保留地公募開始 |
| 平成 17年 9月 20日 | 事業計画第3回変更(県告示1061号) |
| 平成 23年 5月 27日 | 事業計画第4回変更(県告示409号) |
| 平成 25年 5月 31日 | 事業計画第5回変更(県告示490号) |
| | · |

(3)土地利用計画



(4)事業地区全景



(5)事業地区の特徴

▶Appeal point① 主要都市に広がる

事業地区内には、仙台東部道路『仙台港IC』が平成24年12月1日に開通し、事業地区に隣接する仙台東部道路『仙台港北IC』と併せ、仙台南部道路・仙台北部道路経由で東北縦貫自動車道を利用することにより、東北各都市や首都圏とのアクセスがさらに向上しています。

また、東北新幹線や仙台空港の利用により、日帰りビジネスも充分可能で、日々スピードアップするビジネスシーンに対応します。



■高速道路利用による各地への距離と所要時間(80km/h)

| ■ 同述担始付用による合地への距離と所要時间(80km/n) | | | | |
|--------------------------------|----------|--------|------|--|
| 目的地 | インターチェンジ | 距離(km) | 所要時間 | |
| 仙台空港 | 仙台空港IC | 17.6 | 0:10 | |
| 山形市内 | 山形北IC | 74.3 | 0:55 | |
| 盛岡市内 | 盛岡IC | 178.5 | 1:55 | |
| 秋田市内 | 秋田南IC | 234.9 | 2:53 | |
| 福島市内 | 福島西IC | 92.0 | 1:02 | |
| 東京都内 | 浦和本線IC | 342.1 | 3:32 | |
| 仙台北部中核団地 | 大衡IC | 26.7 | 0:20 | |

■JR利用による各地への距離と所要時間

| 発駅 | 着駅 | 所要時間 |
|------------------|------|------|
| JR仙石線陸前高砂駅 | 仙台駅 | 0:16 |
| " 中野栄駅 | 加古歌 | 0:18 |
| | 東京駅 | 1:31 |
| /I. /> FD | 新青森駅 | 1:27 |
| 仙台駅 (東北新幹線利用) | 盛岡駅 | 0:43 |
| (本礼初) 軒 柳(竹) (五) | 秋田駅 | 2:08 |
| | 福島駅 | 0:22 |
| ■仙台空港の航空路線(5 | 定期便) | |
| 区分 | 路線数 | 便数 |

平成25年 3月21日 現在

5路線

8路線

週17往復

1日44往復

国際線

国内線

▶ Appeal point ②

世界に広がる

地区に隣接する仙台塩釜港(仙台港区)は、石巻港、松島港と統合し、港区毎の適切な機能分担による港湾施設のさらなる有効活用などが期待され、地区内の物流拠点としてのポテンシャルが一層高まりました。

港湾計画改定・三港統合





- ●国際拠点港湾 仙台塩釜港
- ●重要港湾 石巻港
- ●地方港湾 松島港
- ◆効率的・効果的な復旧計画
- ◆投資効果の最大化
- ◆東北の産業競争力等をけん引
- ◆広域的な防災体制の構築

三港統合一体化にすることにより、港湾機能と既存ストックの有効活用が可能

三港統合を受けた港湾計画の改訂 (平成25年7月26日)

東北をけん引する中核的国際拠点 港湾の実現

仙台塩釜港のアウトライン



第1章 仙台港背後地土地区画整理事業の概要

仙台塩釜港(仙台港区)では、北米や中国、韓国をダイレクトに結ぶ国際コンテナ定期航路の 他に、京浜港を経由して、世界各国と結ぶ国際フィーダーコンテナ定期航路も充実しており、世 界主要国へワールドワイドなコンテナサービスが提供されています。

これにより、東北地方の貨物が安いコストで仙台塩釜港(仙台港区)から直接海外へ輸出入が 可能です。







【寄港地】

金山∼釜山新港~清水~常陸那珂~仙台~小名浜~釜山新港~釜山一蔚山~光陽~寧波~上海~光陽~釜山

【週1便(土曜日)】



山嶺 釜山 仙台 釜山新港 上海 ◆ HEUNG-A 興亜海道 寍波 K KMTC LINE

【寄港地】

仙台~小名浜~釜山~蔚山~寧波~上海~釜山~釜山新港~清水~仙

【週1便(火曜日)】

釜山~新潟~苫小牧~釧路~八戸~仙台~釜山~蔚山~光陽~寧波 〜上海〜釜山〜釜山〜群〜新潟〜図館〜苫小牧〜八戸〜釜山〜蔚山 〜光陽〜新港〜大連〜青島〜木浦〜釜山

【週1便(水曜日)】

第1章 仙台港背後地土地区画整理事業の概要

定期航路

⑨外貿コンテナ航路は、北米西岸航路(週1便)、中国/韓国航路(週3便)の計4航路(週4便)、国際フィーダー航路は、8航路(週11便)

◎フェリー、RORO船、自動車運搬船による国内航路により全国各地へ輸送可能。



仙台塩釜港(仙台港区)コンテナ定期航路一覧

平成25年9月28日現在

| | | | | | 平成25年9月28日現在 |
|------|-----------------|------------|---|---|---|
| 区 分 | 航 路 名 | 寄港間隔(曜日) | 寄 港 地 | 船 社 名 | 開設年月 |
| 外貿航路 | 北米西岸コンテナ定期航路 | | 他台[日]ーロサンゼルス[水・金]ーオークランド[士・日]一東京 [日]ー名古屋[月]ー神戸[水・木]ー名古屋[金]一東京 [土]ー仙台[日] | 日本郵船㈱ ハバックロイド OOCL(オリエント・オーハ'ーシーズ・コンテナライン) 3,500TEU型 5隻運航 | 1997 (H9)年4月 2012 (H24)年1月再開 2012 (H24)年5月改編 |
| | 中国/韓国コンテナ定期航路 | | (地合【木】 一釜山【土・目】一欝山【目】一光陽【月】一寧波 【火・木】 - 上海【水・木】 - 釜山【土)-釜山第1巻【土】一新 【月】 一廣所【火」 吉 小水(木】 - 八戸【木】 - 釜山【土・月 一 蔚山 【火】 - 光陽【火】 - 新港【木・金】 - 大速【土・目】 - 青島【目・月】 - 木浦【火】 - 釜山【水・木】 - 新潟【金】 - 苫 小牧【土・日】 - 釧路【月】 - 八戸【火】 - 仙台【木】 | STAR EXPRESS/STAR UNIX/STAR CLIPPE | 2000 (H12)年5月 2012 (H24)年4月臨時 E2012 (H24)年5月再開 2013 (H25)年8月改編 |
| | 中国/韓国コンテナ定期航路 | | <u>仙台(土)</u> - 小名浜(土:日) - 釜山新穂(火) - 釜山(火・水) - 蔚山[水) - 光陽(木) - 寧波(金:土) - 上海(土・目) - 光陽(元) - 浩陽(木) - 清水(木) - 常陸那珂(金) - 仙台(土) | 南星海運㈱ DONG YOUNG SHIPPING(ペカ'サマスコンテナ) STAR CARRIER/STAR MARINER 962TEU型 2隻運航 | 2000 (H12)年5月 2011 (H23)年9月再開 2012 (H24)年4月改編 |
| | 中国/韓国コンテナ定期航路 | | 他台(大) - 小名浜(木) - 釜山(金・土) - 蔚山(土) - 寧を [月・火] - 上海(火・水] - 釜山(木・金) - 釜山新港(金・ 土) - 清水[ロ・月] - 他台(火) | | 2001 (H13)年2月 2012 (H24)年3月再開 2013 (H25)年6月改編 |
| | | 4航路, i | | 7船社 | |
| 内貿航路 | 国際フィーダーコンテナ定期航路 | 週2便(月·木) | <u>仙台</u> −東京/横浜/川崎− <u>仙台</u> | 近海郵船物流㈱・日本郵船㈱・ハパックロイド・その他 各船社 B/L Merchant輸送 | 1990 (H2)年6月 |
| | 国際フィーダーコンテナ定期航路 | 週2便(火・金) | <mark>仙台-宮古-八戸-苫小牧-室蘭-横浜-仙台</mark> | (株横浜コンテナライン ・コスコ | 1998 (H10)年6月 |
| | 国際フィーダーコンテナ定期航路 | 週4便(月・木・土) | ①仙台-/東京/横浜-仙台 ②仙台-八戸-仙台-東京/横浜-小名浜-東京/横浜 -仙台 | 井本商運㈱ ・マースク ・MOL ・エバーグリーン ・APL ・OOCL ・MSC ・SITC | 1999 (H11)年11月 |
| | 国際フィーダーコンテナ定期航路 | 週2~3便(水·金) | ①仙台-東京/横浜-苫小牧-東京/横浜-仙台 ②仙台-東京/横浜-清水-東京/横浜-大船渡-仙台 ③仙台-東京/横浜-清水-鹿島/常陸那珂-東京/ 横浜-仙台 | 鈴与海運㈱ ・川崎汽船㈱ ・APL ・OOCL | 2002(H14)年12月 |
| | | 8航路,週 | 11便 | 内航4船社(主なサービス船社10社) | |

東北の拠点空港 仙台空港

利便性高まる仙台空港!

《仙台空港の特徴》

- 県内主要地への容易なアクセス 仙台駅及び仙台港ともに30分程度
- 2 充実した路線網 国内線9路線8都市、国際線5路線5都市を結ぶ

(2)仙台港

- 3 東北の空のゲートウェイ 国際線乗降客の約半数は宮城県外の居住者
- 1 県内主要地への容易なアクセス

国内線(H26. 1. 1現在)

最短時間

1:10

0:55

1:00

1:10

1:10

1:20

1:25

1:20

1:40

2:30

約25分(快速17分) ※乗換不要

約35分 ※有料道路利用 約30分 ※有料道路利用

2 充実した路線網

就航先

札幌

成田

名古屋(中部)

大 阪(伊丹)

大 阪(関西)

神戸

那 斯

国内線59便/日、国際線16便/週 ※LCCが東北で唯一就航

| | fr. |
|--------|-------|
| 主復便数・日 | 就航先 |
| 18 | ソウル |
| 2 | 774 |
| 2 | 台北 |
| 7 | ホノルル |
| 17 | パンコク |
| 2 | 上海/北京 |
| 月より2便 | 大連/北京 |
| 2 | 長春 |
| 8 | 21 |
| 1 | 0 |
| | |







3 東北の空のゲートウェイ

仙台空港国際線搭乗客 県内52% 県外48%(岩手22%、福島10%、山形8%など)

※H24国交省調

► Appeal point ③

ビジネスが広がる

夢メッセみやぎ

(みやぎ産業交流センター)



産業、貿易の振興を図るために宮城県に より設置された、展示会見本市から各種 コンベンションまで幅広いイベントを開 催できる東北最大級の大型展示場。

アクセル

(仙台港国際ビジネスサポートセンター)



製品輸入の促進、港湾業務機能の集積、交 流集客の推進を図るため、宮城県が整備 する港湾ビルとの合築により設置された もので、横浜税関塩釜税関支署の仙台港 事務所もこの中に開設されています。

目本三景松島



京都の「天橋立」、広島の「厳島」ととも に、江戸時代より日本三景の一つとして 数えられている名勝地で、年間 620 万 人以上(平成21年、松島圏域)の観光客 が訪れる、東北有数の観光地。